

溪流釣り大会

2026

明宝で育ったアマゴをたくさん放流！腕をふるって大物を釣り上げてください。
大会後も(当日貸切)会場内で引き続き釣りが楽しめます。

釣り竿もって
あそびに行こう！

—第62回—

明宝溪流釣り大会

4/25(土)

賞状・副賞
優勝賞品 “明宝特産品詰合わせ”
5,000円相当

参加料

男性(中学生以上) 3,000円

女性・小学生 2,000円

受付 6:00~ 開会式 6:30

競技 7:00~10:00

子ども、女性の専用釣り場を設置！大会終了後にお楽しみ抽選会があります！

第5回

明宝観光協会会長杯

親子釣り大会

4/26(日)

小学生以下のお子様1名以上の参加が必要です

「ご家族で、お子さんと一緒に、川を楽しんでもらいたい！釣りを通じて笑顔をいっぱいつくって欲しい・・・」そんな思いで企画しました！

参加料

1家族3名まで 5,000円

(1名追加ごとに+2,000円)

受付 8:00~ 開会式 8:30

競技 9:00~11:00

大会終了後にお楽しみ抽選会があります！

！下記をご確認いただき、ご同意のうえご参加ください

参加のお申込みは、当日受付のみです。

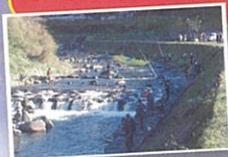
注意事項

- ▲荒天時は中止します。
- ▲事前の場所取禁止、入川順は当日受付時に、抽選で指定します(混雑回避と公平性のため)。
- △貴重品の管理は自己責任です。
- △競技での釣法は、のべ竿によるエサ釣りのみです。
- △エサ・釣り具は会場にありません。(事前にご用意ください)
- ※当イベント内において発生した事故や怪我・病気などについて、当方スタッフの故意または重大な過失が明白な場合を除き、一切の責任を負いかねます。

当大会は、多くの地元ボランティアスタッフによって運営されています。皆様のご協力をいただき、楽しい大会をご一緒に作り上げましょう。

会場 岐阜県 郡上市 明宝気良1677

気良川特別漁場



Googleマップ



気良川特別漁場

川魚・鍋料理・ご宴会・ご宿泊
料理旅館
みずかみ
(0575) 87-2136

昔なつかしの味
明宝ハム
ご用命は
0120-44-8601

気良川特別漁場すぐそば
民宿 しもた
(0575) 87-2233

名馬磨墨の里
明宝温泉の湯
旅館 かも
(0575) 87-2051

あまご・いわなの
生産販売
大林あまご園
(0575) 87-2443

良質のあまごを
生産管理
明宝あまご会

明宝を遊びつくす！
つりばりや
070-8933-0261

主催 明宝溪流釣り運営委員会
後援 郡上漁業協同組合
協力 郡上市・明宝観光協会
明宝ツーリズムネットワークセンター

お問合せ先

明宝観光協会

(0575)87-2844

受付時間
9:00~17:00

郡上市役所 明宝振興事務所

(0575)87-2211

明宝溪流釣り大会のようす



会場のようす

大会の会場は、明宝の気良地区に流れる気良川です。深い山間から生まれるこの溪流の平水時は、翡翠ガラスのような美しさで、とても冷たい水が流れています。

水深は深くて2m、浅いところは50cmほどです。川幅は広い場所で10mほどですが、大会では参加者どうし隣り合って釣るため、釣り竿は短めの4mから6mを使った方が釣果を伸ばしているようです。

仕掛について

お子さま向けのご案内です。

釣り糸は0.3号からが良いようです。より細い糸の方が、時間が経つにつれ警戒してきたアマゴがエサを食べやすいです。しかし細い糸は絡まったり切れやすいので細くて0.2号です。

釣り方には「ミャク釣り」と「ウキ釣り」があります。ウキ釣りの方が、お子さまにも魚がエサを食べた合図(アタリ)がわかりやすいです。ウキは玉ウキの最も小さい物(4号以下)をご使用ください。ただ、難しいミャク釣りの方が、より釣れます。

オモリはガン玉の3号から5号がよく使われます。色々な重さのセットが市販されています。

ハリは7号から2号です。より小さい方が、魚は食べやすい

ですが、使いにくいので、3～5号ほどが良いと思います。

また、釣り場ではよく仕掛が絡まったり、木や川底に引っかかります。仕掛は事前に5～10点つけて、すぐ交換できるようにすることをお勧めします。

エサについて

天候によって、アマゴが好むエサが変わっているようです。イクラ・ミミズ・ブドウ虫・川虫・練り餌など、様々な溪流釣り用の釣りエサがあります。

魚がエサを食べなくなったときに、エサを変えて釣っている方はよく釣れているようです。会場ではエサの販売はございません事前にご用意ください。

おすすめの服装

お子さま向けのご案内です。
○頭：帽子はケガ、日焼け防止のために ○上着：カッパが水濡れや寒さを防ぐ ○靴：濡れてもよい運動靴など斜面、ぬたば、石のごろごろしたところをしっかりと歩ける靴がよい(帰り用の替えの靴もご用意ください)

○ライフジャケット：もしもときに備え、装着すると安心
○おやつ：朝は寒く川の水は冷たいので、元気がでる飲み物や甘い物があるとよいです!